

# 1. 代表質問、予算・決算審査特別委員会の審議方法の見直しについて

## ①本会議の代表質問と予算・決算審査特別委員会の総括質疑の考え方について

大阪維新の会堺市議会議員団	代表質問については、あくまでも決算・予算の総論(大枠)を議論し、各論(より掘り下げた個別具体の事業)については総括質疑で実施するというすみ分けを行うべき。
公明党堺市議団	○2月8日の予算・決算に関する代表質問については、我が会派として取り組み実践してきたところであります。十分な試行実施の期間を経たところであり、本格実施をお願いするところであります。 ○予算・決算審査特別委員会の総括質疑の考え方については、これまでの取り組みでいいのではないかと考えます。
自由民主党・市民クラブ	すでに合意されている「重複を避けて質疑を行うこと」を徹底する必要があります。 特に総括質疑については分科会等における議論の深度を意識することで、差別化を図れるものと考えています。
堺創志会	今までの議会力向上会議での発言のとおり。
日本共産党堺市議会議員団	代表質問と総括質疑でテーマが重なるというのは、あり得ること。大事な課題なら、前の答弁を受けて次の質疑を重ねてやることもありうる。 それぞれの議員の考え方で質疑しているので、全く同じ質疑をしていることはなく、少しずつ視点も違う。だから、制限する理由は全くない。
長谷川議員	代表質問については、会議での発言とおり。 総括質疑については、必要であり、希望としては発言時間を拡大されたい。